



2020年9月
聖マリア学園
吉野幼稚園

主 題 : 心と力を合わせる

聖書のことば : 自分のことだけでなく他人のことにも注意を払いなさい

(フィリピの手紙 2:4)



一学期もなんとか無事に終わり、夏休みに入りました。一学期中、保護者の皆様方には、本園の教育活動に際しまして絶大なるご支援・ご協力を賜り、大変感謝申し上げます。

夏休みに入っすぐ、年長児(Aグループ)を対象に、「お泊り保育」に代わって郡山や入来での「体験学習」を実施いたしました。草スキーや電波天文台の見学、牧場での体験など、盛りだくさんの内容でした。子どもたちには、きっといい思い出がたくさんできたことでしょう。

さて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大をふせぐため、自粛自粛の半年になってしまいました。本当にいろいろなことで制約を受けて、これまでの社会生活が一変してしまったようです。我々の生活は、人と人とのつながりで成り立っているのだと改めて思い知ったところ。それでも、生きていくためには最低限のことはしなければいけませんし、これまでやってきたことを別の形でやってみるといった様々な工夫が考えられてきました。テレワークやリモート会議など、その最たるものでしょう。このような現状の中で、大切なことは、「発想の転換」ということだと思います。カトリック教会では、昔から「暗いと不平を言うよりも、すすんで明かりをつけましょう」という教えがあります。このことは、育児にも通用すると思います。子どもがこちらの思い通りに動かないとき、叱りつけるばかりではなくて、一歩踏みとどまって、なぜ言うことを聞かないのかを考えてみることも大切です。子どもの気持ちや目線になって、考えてみるのが大切です。何か解決の糸口が見つかることもあるかもしれません。

これからも、一人ひとりの子どもと接していく中で、子どもたちが本来潜在的に持っている「成長する力」を育んでいきたいものです。

園の教育と、家庭での教育が一体となって、すばらしい御子を育ててまいりましょう。

園長 野田弘之



今月のねらい

生活リズムを取り戻し 敬老の日について 話し合い 感謝と尊敬と思いやりの心を育む
運動会の練習を通して 助け合い 補い合い 心と力を合わせて一つのことを作り上げて
いく 喜びを感じる